

電子着火式ブンゼンバーナー

Fuego SCS ベーシック /

Fuego SCS ベーシック (ワイヤレスフットペダル付)

フェーゴ SCS ベーシック /

フェーゴ SCS ベーシック (ワイヤレスフットペダル付)

取扱説明書



■ 製品を使用前に ■

- 本器を使用する前に、必ず取扱説明書をお読みください。
- 本取扱説明書をよく読み、記載された内容に従って正しくお使いください。
また、本説明書を紛失しないように大切に保管してください。

■ 製品についてのお問い合わせ先 ■

輸入元: 株式会社 東京エム・アイ商会

〒135-0023 東京都江東区平野 3-2-6

TEL.: 03-6458-5588 FAX: 03-6458-5518

<https://www.tokyo-mi.jp/>

目次

ご使用上のご注意	4
使用用途	4
安全上のご注意	4
使用上のご注意	4
ガス漏れに関するご注意	5
同梱品一覧	6
各部の名称	7
1 設置	8
1.1 ノズルの取付	8
1.2 ガスホースの接続	8
1.3 電源の接続	9
1.4 フットペダルの接続	9
2 操作	10
2.1 本器の電源を入れる	10
2.2 動作モードの選択	10
2.3 炎の調節	10
2.4 本器の電源を切る	10
3 [RF]ワイヤレスフットペダル	11
3.1 ワイヤレスフットペダルの使い方	11
3.2 ワイヤレスフットペダルのペアリング	11
4 本器を点火・消火する	12
4.1 ファンクションノブでの点火・消火	12
4.2 フットペダルを踏んでいる間のみ点火	12
4.3 フットペダルで点火、消火	12
5 エラー表示	13
5.1 点火エラー	13
5.2 失火エラー	13
5.3 過温度エラー	13
5.4 バーナーヘッド取付エラー	14
5.5 バーナーヘッドコントロール(BHC)動作表示	14
5.6 フットペダル接続制御	14
6 分解と清掃	15
6.1 バーナーヘッドの分解および清掃	15
6.2 バーナーシャフトの清掃	16
7 ターボフレーム	16
8 傾斜調整	16
9 保証	17
付録	18
仕様	18
テクニカルデータ	18

プログラム	18
安全機能	18
ガス供給消費量	18
温度	18
主な仕様	18
本体仕様	19
困ったときは	20

[RF]:フェーゴ SCS ベーシック RF の説明です。フェーゴ SCS ベーシック RF をお使いの方のみご参照ください。

ご使用上のご注意

使用用途




本器は、クリーンルーム、安全キャビネットや実験室などでの使用を目的とした加熱・火炎滅菌用および安全実験用ガスバーナーです。

本用途以外での使用を検討される場合は、販売店または輸入元へご確認ください。



安全上のご注意

必ず、本器を使用する前に次の安全に関する事項をよくお読みください。

本取扱説明書では、本器の使用方法について、取扱説明書の記載内容と異なる誤った使い方をした際におよぼす危害や損害の程度を次のように区分しています。







 危険	「誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつくもの」です。
 警告	「誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの」です。
 注意	「誤った取扱いをしたときに、人体の傷害または施設・設備の損害に結びつくもの」です。

また、お守りいただく内容を次の絵表示に区分して説明しています。

 必ず行っていただく強制事項です。
 絶対に行ってはいけない禁止事項です。

使用上のご注意

危険

-  本器を開梱する際は、輸送中に生じた損傷がないか、また各付属品が揃っているか確認してください。損傷が見られる場合は本器を使用せず、販売店または輸入元へご連絡ください。
-  使用後、または長時間使用しない場合はガスの供給を止め、本器を停止してください。
-  取扱説明書に記載された設置方法を必ず守り、ガスを正常に供給できるように設置・接続してください。設置・接続が正常でない場合は火災や爆発が発生するおそれがあります。
-  絶対に引火性液体または危険物を本器の近くに置かないでください。
-  本器は必ず一人以上そばにいる状態で使用してください。
-  本器は換気されている場所で使用してください。

警告

- ❗ JIS 規格認証品のガスホースのみを使用してください。ホースの種類によってはホースクランプが必要です。その場合、ホースクランプはご自身で用意してください。
- ❗ 本器を使用する前に、ホースの接続状態を必ず確認してください。
- ⊘ バーナーヘッドまたは火炎口に手や身体の一部を近づけたり、触れたりしないでください。火傷の原因となります。
また、消火した後もバーナーヘッドや火炎口が高温の場合があるため注意してください。
- ❗ 本器の分解、清掃、消毒、整備、輸送は、本器を停止後、バーナーヘッドまたは火炎口が冷めてから実施してください。また、本器およびガスの供給が完全に停止していることを事前に確認してください。
- ❗ 本器を使用する際は、必ずバーナーヘッドを組み立ててから使用してください。
- ❗ バーナーヘッドを清掃した後は、完全に乾燥させてから再度組み立ててください。
- ⊘ 火炎口の中に試料や物質をこぼさないでください。
- ❗ ノズルを取り付ける前に Oリングを確認してください。損傷または摩耗している場合はガス漏れのおそれがあるため、販売店または輸入元へ連絡し、機器の点検を手配してください。
➡ 8 ページ「1.1 ノズルの取付」参照してください。

ガス漏れに関するご注意

危険

- ❗ ガスが漏れないように、すべてのガス接続部を十分に締め付けてください。
- ❗ ガス接続部またはガス継手（ガスカートリッジ、ガスバーナー（本器）、または追加のガス漏れ防止装置）について、次の手順に沿ってガス漏れを確認してください。
 - ① ガスを供給した状態でガス接続部にガス漏れ検査剤を塗布してください。
 - ② 気泡がないか確認してください。
気泡が発生したり、1つの気泡が大きくなったりしたらガス漏れです。直ちにガスの供給を停止してください。
 - ③ ガス漏れがあった場合はスパナでガス接続部またはガス継手を締め、ガス漏れがないか再度確認してください。
- ❗ 販売店によって本器が設置された場合でも、使用する前に必ずガス漏れがないことを確認してください。
➡ 8 ページ「1.2 ガスホースの接続」のすべての手順を実施してください。
- ⊘ 本器の「ガス供給口」をテフロンテープなどで塞がないでください。

⚠ 危険

- ⊘ ガス臭がする場合はガス漏れのおそれがあるため、直ちに本器へのガスの供給を停止してください。また、販売店または輸入元に連絡してください。
ガス漏れは火災や爆発の原因となり、重傷事故や死亡事故、物的損害が発生するおそれがあります。
本器へのガスの供給を停止したあとは、次の手順に沿ってガス漏れを確認してください。
 - ①本器を消火します。 ②ACアダプターを取り外します。
 - ③すべてのガスホースがガスの供給に耐えられるか確認します。
- ⊘ ガスが漏れている箇所を直火で探すことは絶対にしないでください。
- ⊘ 本器の近く、または使用中は喫煙しないでください。
- ⊘ 本器の近くに予備のガスカートリッジを保管しないでください。
ガスカートリッジは適切に運搬・保管してください。また空のカートリッジは自治体によって指定された方法に従って廃棄してください。
空のようにみえるガスカートリッジでもガスが残存している場合があり、残存ガスに引火すると火災や爆発を引き起こすおそれがあります。
- ⊘ 本器にガスを供給中、または本器を使用中は、ガス接続部を絶対に緩めたり外したりしないでください。

同梱品一覧

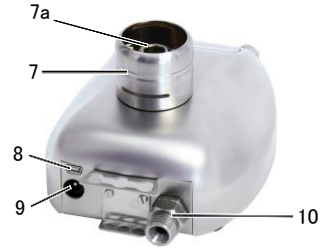


- R1) 傾斜調整版
- R2) レンチ(17mm)
- R3) マイナスドライバー
- R4) ホースコネクター
(ナット付)
- R5) AC アダプター
- R6) フットペダル
(ステンレス製)
- R7) [RF]
ワイヤレスフットペダル
(ステンレス製)

各部の名称



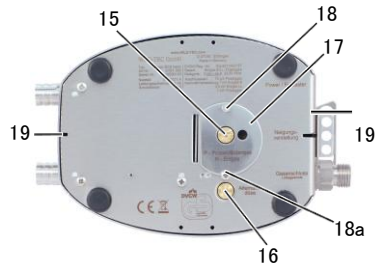
- 1) ファンクションノブ
- 2) ガス/エア調節ノブ
- 3) LED スタンダード
- 4) LED スタート/ストップ
- 5) LED ボタン
- 6) BHC ランプ



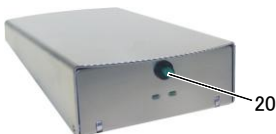
- 7) バーナーヘッド
- 7a) 火炎口
- 8) フットペダル用コネクター
- 9) 電源コネクター
- 10) ガス供給口
(R 1/4 "L ガスアダプター(逆ねじ))



- 11) 白金耳たて
- 12) バーナーヘッド固定ネジ
- 13) モニター電極
- 14) 点火電極



- 15) 天然ガス/都市ガス用ノズル(N)
- 16) プロパン/ブタンガス用ノズル(P)
- 17) バーナーシャフトカバー
- 18) バーナーシャフトカバー固定ネジ
- 18a) カバー用ピストンネジ
- 19) 傾斜調整用ガイド
- 20) [RF]ペアリングボタン



1 設置

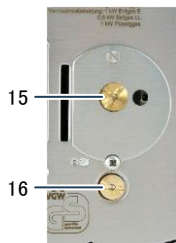
警告

- 必ず取扱説明書に記載された内容に従って製品を設置してください。
 取扱説明書に従わない場合、ガス漏れや火災などが発生するおそれがあります。

1.1 ノズルの取付

本器にはあらかじめ 15) 天然ガス/都市ガス用ノズル(N) (φ 0.8mm) が取り付けられています。
 プロパン/ブタンガスを使用する場合は、次の手順に沿って、本器底面に取り付けられた 16) プロパン/ブタン用ノズル(P) (φ 0.5mm) に取り替えてください。

- 1 R2) レンチ(同梱品)で 16) プロパン/ブタン用ノズル(P)を回し、取り外します。
- 2 15) 天然ガス/都市ガス用ノズル(N)も同様に取り外します。
- 3 各ノズルの取付場所を入れ替え、再度 R2) レンチ(同梱品)で締めます。
 - 別売のガスカートリッジアダプター「CV360」または「CP250」を使用する場合は、ガスカートリッジアダプターに付属するノズル(B) (φ 0.45mm) に取り替えてください。



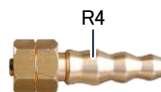
【使用上の注意】

- ノズルを取り付ける前に、Oリングに損傷がないか必ず確認してください。損傷または摩耗している場合はガス漏れのおそれがあるため、販売店または輸入元へ連絡し、機器の点検を手配してください。



1.2 ガスホースの接続

- 1 10) ガス供給口に R4) ホースコネクター(同梱品)を取り付けます。
 - R4) ホースコネクター(同梱品)は R2) レンチ(同梱品)を使用して十分に締め付けてください。
 - ホースコネクターのナットは逆ネジです。締め付ける場合は反時計回りに回してください。
- 2 R4) ホースコネクター(同梱品)にガスホースをつなぎ、ホースクランプで固定します。
 - ※ガスホース、ホースクランプはご自身でご用意ください。
- 3 適切な試験装置で、使用するガスの種類に応じた耐性を確認します。



天然ガス/都市ガス: 18 mbar ~ 25 mbar
 プロパン/ブタンガス: 47.5 mbar ~ 57.5 mbar

【ガスホース接続後の注意】

- R4) ホースコネクター(同梱品)やガスホースの状態を定期的に確認してください。
- ガスホースの種類に応じて、ホースクリップ[※]、ホースクランプ[※]、または R4) ホースコネクター(同梱品)を使用してください。
- ガスカートリッジを使用する場合は別売のガスカートリッジアダプターを使用してください。また、ガスカートリッジアダプターは、お使いになるガスカートリッジアダプターの説明書に従って取り付けてください。
※ホースクリップ、ホースクランプはご自身でご用意ください。

1.3 電源の接続

- 1 本体背面の 9) 電源コネクターに R5) AC アダプター(同梱品)の電源ケーブルを差し込みます。

【使用上の注意】

- R5) AC アダプター(同梱品)は、100 V~240 V、50/60 Hz の電源に対応しています。
- 出荷時は AC100V、50/60Hz に対応するソケットが取り付けられています。電圧等が異なる環境で使用する場合は、必要に応じて対応するソケットに変更してください。

**1.4 フットペダルの接続**

- 1 本体背面の 8) フットペダル用コネクターにフットペダル(同梱品)の接続ケーブルを差し込みます。

→ [RF]ワイヤレスフットペダルの接続については 11 ページ「3 [RF]ワイヤレスフットペダル」を参照してください。

フットペダル用コネクターに接続可能な別売品

- フットペダル(ステンレス製): 商品コード[2050300]
- フットペダル(小型プラスチック製): 商品コード[2050290]
- ワイヤレスフットペダル(ステンレス製): 商品コード[2050313]
- オートループプロ: 商品コード[2050071]

※別売品のフットペダル(ステンレス製)はフェーゴ SCS ベーシックに同梱されているフットペダルと同じ製品です。

※オートループプロはフットペダルではありません。



2 操作

この章では、本器の電源の ON/OFF、炎の調節の操作について説明します。

2.1 本器の電源を入れる

AC アダプターを接続した状態で、1) ファンクションノブを押します。

2.2 動作モードの選択

1) ファンクションノブを回して「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」のどれかを選ぶことができます。選択すると、対応する動作モードの LED が点灯します。

■ フットペダルが接続されていない場合は、「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」を選択することができません。1) ファンクションノブでのみ操作可能です。

2.3 炎の調節

炎の大きさや強さは、2) ガス/エア調節ノブを回すと調節できます。

- ガス調節: 2) ガス/エア調節ノブを左右に回して調整します。
- エア調節: 2) ガス/エア調節ノブを手前に引きながら、左右に回して調整します。

本器を初めて使用する/ガスの種類を変更する場合

本器を初めて使用するとき、またはガスの種類を変更するときは、次の操作を行ってください。

- 1) 2) ガス/エア調節ノブを左に 2 回転させます。
- 2) 2) ガス/エア調節ノブを手前に引きながら左に 1 回転させ、空気取り入れ口を開きます。



2.4 本器の電源を切る

- 1) ガスの供給を止めます。
- 2) 1) ファンクションノブを 2 秒以上押します。



⚠ 長時間使用しない場合は、ガスホース内にある残留ガスを燃焼させてください。

ガスの供給を止めてから、バーナーを再度作動しホース内の残留ガスを燃焼させてください。ホース内の残留ガスがすべて燃焼すると炎が消えるので、1) ファンクションノブを 2 秒以上押し、本器の電源を OFF にしてください。

■ [RF]バーナー本体の電源が OFF になると、ワイヤレスフットペダルも自動的に OFF になります。

3 [RF]ワイヤレスフットペダル

この章では、ワイヤレスフットペダルの使い方とペアリングについて説明します。

※本機能はフェーゴ SCS ベーシック RF のみ対応しています。

※R7) ワイヤレスフットペダルを使用するにあたり、単三形乾電池 2 本が必要です。

事前にご用意のうえ、ご使用前にワイヤレスフットペダルに装着してください。

3.1 ワイヤレスフットペダルの使い方

【使用上の注意】

- バーナーとワイヤレスフットペダルは出荷時にあらかじめペアリングされています。
- 長期間使用しない場合は、電池を外して保管してください。
- バーナーの意図しない作動を防ぐため、作業前にバーナーの電源を OFF にしてください。

- 1 ワイヤレスフットペダルをバーナーの近くに置きます。(2~5mの範囲)
- 2 バーナーの電源を ON にします。
 - この時点ではワイヤレスフットペダルとバーナーが接続されていないため、「3) LED スタンダード」と「4) LED スタート/ストップ」が交互に点滅しています。
- 3 ワイヤレスフットペダルを軽く押すか、ワイヤレスフットペダルの 20) [RF]ペアリングボタンを短く押して電源を ON にします。
- 4 「3) LED スタンダード」または「4) LED スタート/ストップ」が点灯すると接続が完了しています。

3.2 ワイヤレスフットペダルのペアリング

ワイヤレスフットペダルの接続が中断された場合、または複数のワイヤレスフットペダルを並行して使用する場合、下記の手順でバーナーとワイヤレスフットペダルを新たにペアリングできます。

【ペアリングにあたっての注意】

- バーナーの意図しない作動を防ぐため、作業前にバーナーの電源を OFF にしてください。
- 他のバーナーへの意図しないペアリングが発生した場合は、ペアリング手順を実行中に電源を OFF にしてください。

- 1 ワイヤレスフットペダルをバーナーの近くに置きます。(最大 30cm の範囲)
- 2 ワイヤレスフットペダルを軽く押すか、ワイヤレスフットペダルの 20) [RF]ペアリングボタンを短く押して電源を ON にします。
- 3 バーナーの電源を ON にします。
- 4 その後すぐにワイヤレスフットペダルの 20) [RF]ペアリングボタンを約 3 秒間押し続けます。
 - ペアリングが開始するまでに約 1 秒かかります。
 - ペアリングが開始すると 20) [RF]ペアリングボタンのランプが 0.5~30 秒間点灯します。
 - 正常にペアリングできると、すぐに 20) [RF]ペアリングボタンのランプが消え、その後ランプが弱い点滅に切り替わります。

4 本器を点火・消火する

1) ファンクションノブを回して「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」を切り替えると、選択したモードで点火・消火することができます。

ここでは、本器の点火・消火方法に関する機能について説明します。

4.1 ファンクションノブでの点火・消火

- 点火方法: 1) ファンクションノブを押します。
- 消火方法: 点火中に再度 1) ファンクションノブを押します。さらに、点火後 60 分が経過すると自動で消火します。

4.2 フットペダルを踏んでいる間のみ点火

【使用上の注意】

- 本機能はフットペダルが接続されている場合のみ使用できます。
 - ➡ フットペダルについては 9 ページ「1.4 フットペダルの接続」を参照してください。
 - ➡ フットペダルが接続されていない場合、12 ページ「4.1 ファンクションノブでの点火・消火」の操作となります。
- 点火方法: 「3) LED スタンダード」を選択中にフットペダルを踏みます。
 - フットペダルを踏んでいる間は点火し続けます。
- 消火方法: フットペダルから足を離します。

4.3 フットペダルで点火、消火

【使用上の注意】

- 本機能はフットペダルが接続されている場合のみ使用できます。
 - ➡ フットペダルについては 9 ページ「1.4 フットペダルの接続」を参照してください。
 - ➡ フットペダルが接続されていない場合、12 ページ「4.1 ファンクションノブでの点火・消火」の操作となります。
- 点火方法: 「4) LED スタート/ストップ」を選択中にフットペダルを踏みます。
- 消火方法:
 - 点火中に再度フットペダルを踏む、または 1) ファンクションノブを押します。
 - さらに、点火後 60 分が経過すると自動で消火します。

5 エラー表示

操作中にエラーが発生した場合、必要に応じてバーナーのガス供給が自動で停止し、LED が点滅しなくなります。

エラー表示の解除

- 1) ファンクションノブを 2 秒以上押します。

エラー表示が解除されます。

- 過温度エラーの場合は、本器を冷却する必要があります。
- バーナーヘッド取付エラーの場合は、バーナーヘッドを再度取り付ける必要があります。

5.1 点火エラー

「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」が2回点滅。

※点火エラーの場合、バーナーのガス供給は自動で遮断されます。

- 点火操作後、約 7 秒後までに炎が点火できなかったことを示します。
- 7) バーナーヘッドが詰まっているかを確認してください。
 ⇒ バーナーヘッドの清掃は、15 ページ「6.1 バーナーヘッドの分解および清掃」を参照してください。
- ガス供給の圧力、また正しいノズルが取り付けられているかどうかを確認してください。
 天然ガス/都市ガス: 18 mbar ~ 25 mbar、ノズル(N)
 プロパン/ブタンガス: 47.5 mbar ~ 57.5 mbar、ノズル(P)または(B)
 ⇒ ノズルの確認は、8 ページ「1.1 ノズルの取付」を参照してください。

5.2 失火エラー

「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」が3回点滅。

※失火エラーの場合、バーナーのガス供給は自動で遮断されます。

- 点火操作後、外部要因によって炎が消え、5 秒以内に再点火できなかったことを示します。
- 6) バーナーヘッドが詰まっているかを確認してください。
 ⇒ バーナーヘッドの清掃は、15 ページ「6.1 バーナーヘッドの分解および清掃」を参照してください。
- ガス供給の圧力、また正しいノズルが取り付けられているかどうかを確認してください。
 天然ガス/都市ガス: 18 mbar ~ 25 mbar、ノズル(N)
 プロパン/ブタンガス: 47.5 mbar ~ 57.5 mbar、ノズル(P)または(B)
 ⇒ ノズルの確認は、8 ページ「1.1 ノズルの取付」を参照してください。

5.3 過温度エラー

「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」が4回点滅。

※過温度エラーの場合、バーナーのガス供給は自動で遮断されます。

- 本体内部温度が 70° C を超えたことを示します。
- 本器は空気の循環があり、適切な環境温度の場所で使用してください。
- 環境温度が高すぎる場合は、換気を増やすか、使用場所を変更してください。

5.4 バーナーヘッド取付エラー

「3) LED スタンダード」、「4) LED スタート/ストップ」、「5) LED ボタン」が 5 回点滅。

- 7) バーナーヘッドが取り外されている、または正しく取り付けられていないことを示します。
- バーナーヘッドを正しく取り付けてください。

5.5 バーナーヘッドコントロール(BHC)動作表示

「6) BHC ランプ」がオレンジ色に6回点滅。

※バーナーヘッドコントロール(BHC)が作動すると、「4) LED スタート/ストップ」および「5) LED ボタン」を選択している場合に、燃焼可能時間が 30 秒に制限されます。

- 7) バーナーヘッドが目詰まりしていることを示します。
 - バーナーヘッドを清掃し、目詰まりを解消してください。
- ➔バーナーヘッドの清掃方法は、15 ページ「6.1 バーナーヘッドの分解および清掃」を参照してください。

5.6 フットペダル接続制御

「3) LED スタンダード」と「4) LED スタート/ストップ」が交互に点滅。

- フットペダルがバーナーに接続されていないことを示します。
- [RF] ワイヤレスフットペダルが範囲外であるか、信号が中断されていることを示します。
- フットペダルを 8) フットペダル用コネクタに差し込んでください。
- [RF] ワイヤレスフットペダルを ON にするか、作動範囲内に移動させ、必要に応じてワイヤレスフットペダルを再ペアリングしてください。

6 分解と清掃

【使用上の注意】

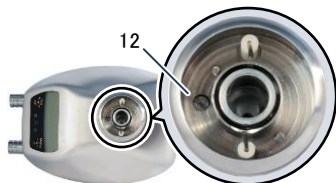
- 7) バーナーヘッドおよび 7a) 火炎口が十分に冷却されてから、バーナーヘッドを分解または清掃してください。
- 本器の電源を OFF にした状態で、ガスの供給が停止していることを確認してください。
- 7) バーナーヘッドは市販の中性洗剤で洗浄できます。また、分解して別々に洗浄することも可能です。
- 7) バーナーヘッドを洗浄する場合は、必ず本体から取り外してから行ってください。

6.1 バーナーヘッドの分解および清掃

【使用上の注意】

- バーナーヘッドを完全に分解する場合、12) バーナーヘッド固定ネジの周りに配置された O リングが外れる可能性があります。再度組み立てる時には、O リングが 12) バーナーヘッド固定ネジの周りに巻かれていることを確認してください。

- 1 はじめに、R2) レンチ(同梱品)で 12)バーナーヘッド固定ネジを取り外し、本器から 7) バーナーヘッドを取り外します。



- 2 取り外したバーナーヘッドの底面を上に向け、R3) マイナスドライバー(同梱品)でビス 2 本(丸囲み部)を取り外します。



バーナーヘッド底面

- 3 ベースプレートを取り外します。



ベースプレート

- 4 13)モニター電極と 14)点火電極を取り外します。



電極

電極の先端が汚れている場合は、紙やすりなどで磨きます。

- 5 バーナーヘッドの基部を、汚れが除去されるまで熱湯に漬け置きます。



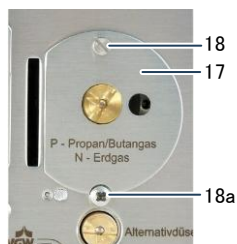
バーナーヘッド基部

- 6 7) バーナーヘッドの各パーツが清掃できたら、組み立てます。

- 組み立ては取り外した手順を逆に行ってください。
- 組み立てる際は、電極の向きにご注意ください。

6.2 バーナーシャフトの清掃

- 1 R3) マイナスドライバー(同梱品)を使用して、本器底面の 18) バーナーシャフトカバー固定ネジを取り外します。
- 2 17) バーナーシャフトカバーを取り外します。



バーナーシャフトカバーを取り外した状態

- 3 バーナーシャフトを清掃します。
- 4 手順 1、2 と逆の順序でバーナーシャフトを組み立てます。

【使用上の注意】

- カバーの切れ込みが 18a) カバー用ピストンネジに合うように注意してください。
- 18) バーナーシャフトカバー固定ネジを R3) マイナスドライバー(同梱品)で完全に締め込んでください。

7 ターボフレーム

17) バーナーシャフトカバーを取り外した状態で点火すると、炎が極端に強く燃焼します。

17) バーナーシャフトカバーを取り外すには、R3) マイナスドライバー(同梱品)を使用して本器底面の 18) バーナーシャフトカバー固定ネジを取り外します。

バーナーシャフトが開いていると、2) ガス/エア調節ノブで炎の強度を調整することはできません。ターボフレームに必要な空気は、開いたバーナーシャフトを通じて吸入されます。

➡ バーナーシャフトのカバーの取付方法は 16 ページ「6.2 バーナーシャフトの清掃」を参照してください。

8 傾斜調整

本器底面の 19) 傾斜調整用ガイドに R1) 傾斜調整板(同梱品)を挿入すると、本器の傾きを調整できます。

R1) 傾斜調整板(同梱品)は左右どちらの側にも使用できます。

液体を取り扱う際にバーナーヘッドを汚染から保護するために利用できます。



傾斜調整板

9 保証

本製品は下記保証規定に基づき、保証対応をいたします。

〈保証規定〉

1. 本製品の国内での保証期間は商品受領日より1年間です。
 2. 製品到着時の初期不良、取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で生じた故障の場合は、保証書をご提示(コピー可)のうえ、販売店または弊社まで保証期間内にお送りいただけますと無償で修理いたします。
 3. 保証期間内であっても、次に該当する場合は有償修理となる場合がございます。
 - (1) 取り扱い上の不注意、誤用による故障または損傷。
 - (2) 移動時の落下等による故障または損傷。
 - (3) ユーザー様や販売店等、弊社以外が実施した分解、修理、改造による故障または損傷。
 - (4) 本製品および本製品の付属品、別売品以外に接続、または組み込んで使用したことによる故障または損傷。
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - (6) ユーザー登録がされていない場合。
 4. 保証の対象はガスバーナー本体のみとなります。
フットペダル、ACアダプター、バッテリー、石英ガラス等の付属品や別売品は保証の対象ではございません。
 5. ユーザー登録に商品受領日の記載がない場合、商品受領日が意図的に改竄されていると弊社が判断した場合には、弊社出荷日を保証期間の起算日とさせていただきます。
- ※ **保証は日本国内においてのみ有効です。**
本製品の日本国外での使用につきましては、弊社はいかなる場合でも保証をいたしません。

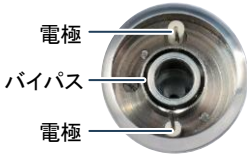
[RF] 電池寿命 約 2000 時間

本体仕様

本体計装:	ステンレス／ガラス製、UV 耐性
パーナーヘッド:	取り外し・交換可能、ステンレス製
パーナーシャフトカバー:	Ø 23 mm
本体寸法 (W x H x D):	103 x 49 x 130 mm
本体重量:	700 g

困ったときは

次の事項をご確認いただいても症状が改善されない場合、直ちに本器の使用を中止し、販売店または輸入元へご連絡ください。

症状	対策
緑色の LED が点灯しない	AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 同梱の AC アダプターを使用していることを確認してください。 (仕様: 9V / DC1.3A)
フットペダルが作動しない	フットペダルが正しく接続されていることを確認してください。 フットペダルのソケットとプラグがねじれていないか、破損していないか確認してください。
炎が出ない	点火または炎に不具合がある場合は、バーナーヘッドが汚れていないか確認してください。 使用されているガス圧を確認してください。 ● ノズル N: 天然ガス/都市ガス用: 18 mbar ~ 25 mbar ● ノズル P, B: プロパン/ブタンガス用: 47.5 mbar ~ 57.5 mbar 本器に正しいノズルが取り付けられていることを確認してください。 ⇒ 8 ページ「1.1 ノズルの取付」参照。
バーナーヘッドの点検(詰まり)	 <p>バイパス(内側と外側のリングの間の溝)に液体や付着物がないように注意してください。 汚れはブラシなどで取り除くことができます。</p> <p>電極に汚れや黒ずみがある場合、炎は電極を正しく取り囲むことができません。このため、電極の汚れや黒ずみに特に注意し、ブラシや紙やすりなどで取り除いてください。</p> <p>バーナーヘッドは市販の中性洗剤・食器洗い機での洗浄、オートクレーブでの滅菌ができます。</p>
30 秒以上燃焼しない	バーナーヘッドコントロール(BHC)が作動しています。 バーナーヘッドが汚れているため、清掃する必要があります。 ⇒ 15 ページ「6.1 バーナーヘッドの分解および清掃」参照。
炎が小さすぎる/大きすぎる/ 弱すぎる	エアとガスの流量を調節してください。 ⇒ 10 ページ「2.3 炎の調節」参照。 正しいノズルが取り付けられているか確認してください。 ● ノズル N: 天然ガス、18 mbar ~ 25 mbar ● ノズル P, B: プロパン / ブタンガス、47.5 mbar ~ 57.5 mbar ノズルを外し、ノズルの穴が詰まっていないか確認してください。 ⇒ 8 ページ「1.1 ノズルの取付」参照。 穴が詰まっている場合は、ブラシまたは圧縮空気で清掃してください。

症状	対策
<p>点火スパークがない/ バーナーヘッドが汚れていないのに BHC が点滅する</p>	<p>バーナーヘッドを取り外して電極のセラミック部分が破損していないか確認してください。</p> <p>確認する際は、電極が折れないよう注意しながら電極の端を指先で動かしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電極が動かない場合：問題ありません。 ● 電極が 0.5 mm 以上動く場合： 破損しています。交換の必要があるため、販売店または輸入元へ連絡してください。 <p>➡ 15 ページ「6.1 バーナーヘッドの分解および清掃」参照。</p>
<p>過熱により定期的に電源が OFF になる</p>	<p>十分に換気をするか使用環境を変更してください。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンが点灯しない</p>	<p>ワイヤレスフットペダルが未検知、または電源が OFF になっています。</p> <p>ワイヤレスフットペダルの電源を ON にし、ペアリングを確認してください。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンが断続的に点灯</p>	<p>ワイヤレスフットペダルのバッテリーが消耗しています。</p> <p>新しい単三形乾電池と交換してください。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンが弱く点灯</p>	<p>ペアリングが進行中です。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンが弱く点滅している</p>	<p>正常にペアリングできている状態です。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンが短く、激しく点滅</p>	<p>無線信号が弱い、信号が重複しています。</p> <p>ワイヤレスフットペダルを再度ペアリングしてください。</p> <p>➡ 11 ページ「3.2 ワイヤレスフットペダルのペアリング」参照。</p>
<p>20) [RF]ペアリングボタンがごく短い間隔で点滅</p>	<p>ワイヤレスフットペダルが 2~5m の範囲外に設置されているか、電源が OFF になっています。</p> <p>ペアリングボタンが 40 回点滅してもガスバーナーが検出されない場合、ワイヤレスフットペダルは自動的に OFF になります。</p>